

第11回南区自治協議会 会議概要

日 時 令和3年2月24日(水) 午後2時～午後3時30分

会 場 新潟市南区役所4階 講堂

- 次 第
- 1 開会
 - 2 部会報告
 - 3 報告
 - (1) 令和3年度南区予算案について(地域総務課)
 - (2) 南区バス運行計画の変更について(地域総務課)
 - (3) 南区感謝状受賞者について(地域総務課)
 - (4) その他
 - 4 南区自治協議会(第7期)を振り返って
 - 5 次回全体会の日程について
3月24日(水) 南区役所 午後2時から
 - 6 閉会

事前配布資料

資料2 令和3年度南区の主な取り組み

資料3 南区バス運行計画変更について

当日配布資料

資料1-1 南区自治協議会第1部会 会議概要

資料1-2 南区自治協議会第2部会 会議概要

資料1-3 南区自治協議会第3部会 会議概要

資料4 南区感謝状受賞者一覧(令和2年度)

出席委員： 齋藤栄樹委員，栗田修二委員，須戸官一委員，久保安夫委員，
小林 誠委員，鞠子幸一委員，富井 敦委員，笹川和代委員，
渡邊直樹委員，今井 剛委員，中丸ちえ子委員，渡邊喜夫委員，
小嶋ノリ委員，大那 孝委員，町屋参吉委員，山宮勇雄委員，
鈴木照子委員，松尾正行委員，田中容子委員，阿部隆一委員，
小田信雄委員 以上21名

欠席委員： 川村朋生委員，有田正己委員，本永裕子委員，梅津繁明委員，
長澤文彦委員，森澤達矢委員，中野裕子委員，和泉美春委員，
早見真由美委員

事務局：(南区) 水野副区長，内藤区民生活課長，佐藤健康福祉課長，
鈴木産業振興課長補佐，赤塚建設課長，鈴木南区教育支援センター所長，
鈴木地域総務課長補佐，藤村地域総務課長補佐，地域総務課職員，
〔Webによるリモート出席(南区)〕川村味方出張所長，登石月瀉出張所長，
川崎南区農業委員会事務局長，和田白根地区公民館長

報 道 1名(新潟日報社)

傍 聴 者 1名

(午後2時00分)

1 開会

○事務局（鈴木地域総務課長補佐）（配付資料の確認）

○議長（小田会長） ご苦労さまである。少し寒暖の差が大きすぎる。体調にお気をつけいただき、本日の会議を進めさせていただきたいと思っている。

明日25日は、ご存じの方もいらっしゃると思うが、天神講である。菅原道真公、天神様は知恵と学問の神様である。どうか、天神様のお力で、新型コロナウイルス感染症で大騒ぎの世の中を鎮める知恵をいただきたいものだと思っている。わが家でも、間もなく来るおひな様と天神講のお飾りで、二つが一緒になっている。神にもすがりたい思いで毎日を過ごしている。

先般、日本で人口が一番少ない1、2を争う県の若手の知事が、2021年度に開催される予定の東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーについて慎重なご意見を述べられた。非常に影響が大きかったように見える。この知事は、昨年2月27日の全国一斉の休校に対しても、日本の中で唯一、休校を阻止した県の知事であった。いわゆる自治は我々が決めるものである。私たちの地域の特性を私たちが総合的に判断し、この方針を決定するという思い切った方針、いわゆる自治の本筋を貫いた知事でもあった。前身が総務省の官僚であったが、随分本質に迫った行動をなされた知事で有名である。その人が今回、東京オリンピック・パラリンピックに対する聖火リレーに対しても慎重なご意見を述べられていた。やる、やらないではなく、私達も慎重にこれに対して事を構えていくというご意見である。

私達もいろいろな障害、いろいろな問題に、今なおぶち当たっているが、自治とはどういうものか、協働とはどういうものか、あるいは分権とはどういうものか。やはり、この知事に倣ってきちんと考えていくときでもあろうと思っている。困難であるがゆえに、これを真剣に考える時期に来たのではないかと考えている。

私ども、第7期自治協議会も今月のこの会議と来月の1回を残すのみである。きちんと今までのことをまとめ、反省し、さらに、新たな組み立てを提案し、第8期につなげて行ければと思っている。

本日は、先ほど事務局が報告したように、市議会開催中であるので、残念ながら区長が本日は欠席である。私どもの会議の内容をつぶさに区長にお伝えさせていただくことをお約束し、本日の会議を開催したいと思っている。どうぞ、忌憚のないご意見を期待している。

欠席者の報告

傍聴者の報告（所定の手続きを経て、傍聴していることを報告）

2 部会報告

○議長（小田会長） それでは、会議に入る。次第2、部会報告である。部会のただいままでの検討状況を各部会長から報告していただく。

はじめに、第1部会長の鞠子委員から報告いただく。

○鞠子委員 第1部会の部会長を務めさせていただいている、鞠子である。

2月10日に、第1部会において、令和2年度自治協議会提案事業の事業評価ということで、皆さんで意見交換させていただいた。

その中で、南区公共交通PR事業について、コロナ禍でも利用者が増加傾向にある路線もあったので、利用が伸びている路線の利便性向上等について、さらに取り組んでいく必要があるという意見もあった。また、南区防犯・防災啓発事業として、コロナ禍で各地域が工夫して防災の取り組みをしたことや、防災士の増員についても評価の中に入れるべきという意見が出ていた。

2番目として、令和3年度第1部会提案事業について、今後、実施予定の公共交通利用体験支援事業の制度設計案について、確認した次第である。これについては、個人ではないが、地域グループで区バスを利用する際に支援金を出して区バスの利用を高めたいという制度の中身について議論した次第である。

また、例年どおり新1年生への防犯グッズ配布についても、鞆などにぶら下げる反射材を配布するということが決定させていただいた。

○議長（小田会長） 続いて、第2部会長の笹川委員からご報告いただく。

○笹川委員 第2部会の笹川である。

第2部会は、令和3年2月12日に行った。内容としては、第2部会提案事業について、12月6日に開催した婚活事業について、委託業者である株式会社トアイリンクスの社長にお越しいただき、アンケート結果の内容を基に当日の報告があった。次回も参加したいという声がたくさんあった。南区の男性から大変多く応募していただき、人数を増やしたほうがいいのではないかとというような提案もあったが、運営上20名がいっぱいいっぱい、大変振り落とすのが心苦しいという委員の方のご意見もあった。

2番目に、令和2年度自治協議会提案事業事業評価について。今年度実施した各事業について、事業評価を行った。婚活事業は、カップル数を上げるために内容をもっと工夫したほうがいいのではないかなど、活発な意見が出された。

次回は3月11日午後1時30分より部会を行うこととした。

○議長（小田会長） 続いて、第3部会長の富井委員からご報告いただく。

○富井委員 第3部会の富井である。よろしく願う。

第3部会は、2月9日に開催した。内容としては、提案事業について、12月13日に行った料理教室と、12月19日に開催したファミリーダンスについて、アンケートの内容についての結果、その他の報告が事務局からあった。

2番として、それについての事業評価だが、料理教室は新潟日報に載せていただいたこともあり、区外からもたくさん来ていただいて、少し定員オーバーしたということがあり、中身としてもコロナ禍のなか短時間でうまく楽しくできたのではないかと考えている。ファミリーダンスは3回目になるが、天候もあったが参加者が少なく、コロナ禍だから仕方ないというわけではなく、ダンスだけでなく、ほかの競技も含め、内容をさらに検討していったほうがいいのではないかと意見も出た。また、別の観点のものも第3部会の事業としては取り組んだほうがいいのではないかと意見も出た。

次回の開催は3月9日ということで、終了した。

○議長（小田会長） 最後に、広報部会長の田中委員からご説明いただく。

○田中委員 広報部会である。第6回広報部会は本日13時より開催した。内容としては、3月21日発行の南区自治協議会だより第20号について話し合った。第7期の振り返りやまちづくり活動サポート事業の報告を掲載する予定である。

なお、南区自治協議会だよりのメンバー構成や内容の構成のあり方を次期自治協議会で検討していただきたいという意見が出た。

○議長（小田会長） ただいま、四つの部会から、各々の報告を頂戴した。この報告について、不明な点、あるいはご意見があればご発言いただきたい。

ないようである。では、議事を進める。

3 報告

(1) 令和3年度南区予算案について（地域総務課）

(2) 南区バス運行計画の変更について（地域総務課）

(3) 南区感謝状受賞者について（地域総務課）

○議長（小田会長） 続いて、報告事項に入る。次第の第3（1）令和3年度南区予算案について、地域総務課から説明をいただく。なお、ご意見、質問は報告がすべて終了してから受け付けるので、お含み置きいただきたい。

水野副区長、説明願う。

○水野副区長 令和3年度の南区の当初予算について説明する。資料2をご覧ください。こちらは令和3年度の特徴ある区づくり事業などの主な事業を南区区ビジョンの体系に落とし込み、まとめたものである。特徴ある区づくり事業については、10月の自治協議会と11月の各部会にて、それぞれの事業概要について説明させていただいているので、ここでは特に南区の特徴的な部分について説明する。

資料右下の自治協議会提案事業についてだが、南区では前年度と同額の600万円を配分している。資料に記載はないが、一番少ない区が中央区で150万円、南区が600万円で約4倍で

ある。8区の平均が360万円となっているが、いずれにしても、南区が一番多く配分を行っている。自治協議会提案事業に多く配分したことで、コミュニティ協議会や地域活動団体による地域課題の解決に向けた取り組みが増加、促進し、さらに区の活性化につながることを期待しているところである。

続いて、特色ある区づくり事業以外の南区の主な事業について説明する。資料下段の地域おこし協力隊を活用した地域の活性化事業は3年目の事業となる。総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、都市圏から南区に移住可能な方を隊員として委嘱して、行政では難しい柔軟な地域活性化策を推進しているところである。また、イベント関連の事業に関しては、コロナ禍における参加者の安心・安全などを考慮し、事業の継続や停止を精査したうえで、十分な対策を講じ、事業の実施を検討していく。

○議長（小田会長） 続いて、(2)南区バス運行計画の変更について、同じく地域総務課から説明いただく。

○水野副区長 それでは、南区バス運行計画の変更についてご報告する。資料3をご覧ください。

最初に、1の東部ルートの変更になる。経緯と具体的な内容だが、本ルートは学生が主な利用者であり、近年、学生数が減少傾向にあることから、利用者の減少による収支率が低下し、路線の維持が難しい状況にあるため、現行の1日3便から2便へ減便を行い、収支率の改善を図るものである。

続いて、2の北部ルートについてである。北部便の第4便は新潟白根総合病院を16時21分に出発し、白根高校前を経由し、鷲巻地域生活センター前まで運行している。白根高校生がこれまで毎週火曜日が7限の16時20分まで授業があり、区バスの利用が非常にタイトなスケジュールの関係で厳しかったのだが、より多くの生徒に利用していただくために、新潟白根総合病院のバス停出発時刻を、資料の赤字記載のとおり10分遅らせて、高校生が下校時に乗車できるようにダイヤの改正を行う。以上で、南区バス運行計画変更の報告を終了する。

○議長（小田会長） 続いて、(3)南区感謝状受賞者について、同じく地域総務課から報告いただく。

○水野副区長 それでは、(3)南区感謝状受賞者についてご説明する。資料4、南区感謝状受賞者一覧をご覧ください。

南区感謝状は平成29年度に創設された制度で、南区の発展のために特に功労のあった方をコミュニティ協議会から推薦いただき、区長から感謝状をお送りするものである。市の表彰基準には該当しないが、地域で地道な活動を長く続けておられる方を表彰したいとの地域の皆様の声からできた制度である。今年度は大通コミュニティ協議会から個人1件の推薦をいただき、1月の審査会で受賞が決定した。受賞者と功績事由、推薦団体については資料のとおりとなっている。感謝状の贈呈式につきましては、令和3年4月に自治会永年勤続表彰と併せて行う予定にしている。

○議長（小田会長） ただいま、南区令和3年度予算案について、同じく南区バス運行計画の変更について、そして最後に南区感謝状受賞者についての三つが報告された。各々ご意見、質問をお受けする。

まず、令和3年度南区予算案について、ご意見、質問があればお願いする。

○小林委員 今の令和3年度の取り組みではないが、令和2年度の取り組みの中で地域おこし協力隊もやっていると思うが、途中から替わられて新しい人がなっているのではないかと思う。令和2年度の地域おこしをどうしたとか、自治協議会にあまり報告がないので、もし、次の3月の自治協議会のときに何か報告などがあれば、言っていただきたい。もしできれば、協力隊の方が今は1名だから、自治協議会にもできるだけ顔を出されたほうがいいのではないかと思う。

○議長（小田会長） ただいま、小林委員から地域おこし協力隊に関するご意見を頂戴した。大変重要なお意見である。昨年、委員の交替があり、新規の隊員が鋭意活動してくださっているが、今現在で特筆する活動等があればこの席上で発表いただきたいと思いますし、次回の会議まで、できれば活動内容を文書化してこの会議に提出いただければと思っている。地域総務課から、このことについて、現在分かりうるところを発表いただきたい。

○水野副区長 今現在、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、大きな取り組みがなかなかできない状況であったが、アマビエ凧を揚げたりということでもかなりマスコミ等にも取り上げていただいたり、インバウンドの獲得に向けて留学生の皆様や白根高校の皆様と協力いただいた中で取り組みを行ったりということをしているところである。

今、委員から、自治協議会の場でもできるだけ活動の報告の機会があったほうがいいのではないかとご提言をいただいたが、地域おこし協力隊の今年度の活動、前年度の活動、また、次年度以降の活動もそうなのだが、自治協議会の皆様やコミュニティ協議会の役員の皆様からいろいろご協力いただきながら事業を進めているという経緯もあるので、今後、そのような形で、ぜひとも地域おこし協力隊の方とともに発表の機会を拡充していければと思っている。

○議長（小田会長） ぜひとも、小林委員の提案を受けて、検討を加えていただければと思う。

ご存じのとおり、新潟市にとって地域おこし協力隊は南区が初めての取り組みである。新潟市においては、過去ずっとこの制度を見送っていたが、南区で初めて取り入れられた事業である。ぜひとも活躍と成果を期待しているところなので、今、委員の質問と地域総務課の回答どおり、検討を加えていただければと思っている。

ほかにはないか。自治協議会提案事業についても説明をいただいたが、一番人口の多い中央区の4倍の配当をいただいている。南区が突出した金額で、この提案事業あるいは自治協議会のさまざまな活動を区と一緒に協働しているということの立証である。このことについてもご意見をいただければと思う。

ないようである。それでは、南区バス運行計画の変更について、ご意見があればお願いします。

南区感謝状受賞者について、質問があればお願いします。

ご意見がないようなので、先に進める。

（４）その他

○議長（小田会長） 次第3、（4）その他について、まず、事務方からご連絡があればお願いします。

○鈴木地域総務課長補佐 地域総務課の鈴木である。

お手元にお配りした、地域で弁当交流応援事業のチラシをご覧いただきたい。この事業については、現在、地域の交流や飲食店を支援するための事業を実施しているところだが、昨年12月から2月末まで実施している。この間、多くの地域団体の皆様からご利用いただき、地域の飲食店からも感謝の声が届いているところである。今日現在で、地元の飲食店と地域の交流を応援する事業については南区で680万円の補助申請をいただいているところである。その一方で、コロナ禍で地域の活動や経営状況が厳しい中、事業期間の延長、そして利用対象の拡大を求めるという声もいただいていた。そこで、利用の対象を拡大して、事業名を地域で弁当交流応援事業と改め、3月1日から開始するものである。詳細については、チラシをご覧いただきたい。

補助する内容と手続きとしては、現在の事業と変更はない。事業期間は6月30日まで、予算の上限に達した時点で終了としている。ちなみに、南区への予算配当については、新年度予算で1,000万円を予定しているところである。

2月22日から、すでに受け付けを開始している。対象は、これまでの自治会等の地域団体や趣味、運動のサークルに加えて、地域の企業、そして企業内の親睦会なども対象にしている。ただし、個人での利用、そして冠婚葬祭、宗教活動、政治活動、反社会的な活動を除くということなので、ご注意ください。これまでの事業に引き続き、地域の皆さんから、ぜひともこの事業についてもご利用いただきたいと思っている。

○議長（小田会長） 今、事務局から、地域で弁当交流応援事業、新しい事業の説明があった。これについて、ご質問があればお願いします。

○阿部委員 6月に凧合戦が行われるのだが、凧合戦協会あるいは大凧の何とか組とか、巻凧組というくりでも大丈夫なのか。

○鈴木地域総務課長補佐 先ほど対象から除くと言ったもの以外は該当になるので、今言った事業も該当になる。

○久保委員 今の阿部委員の質問と少し被るかもしれないが、個人での利用ということで、個人

と、サークルなどのとあるが、人数がある程度集まって、日ごろ定期的に活動はしていないが、今度こういうことをやろうということで新規に何か立ち上げるとか、あと、従来からは認められていないがというような、個人の集まりと町内会サークルなどどどのように区別すればよろしいか。

○鈴木地域総務課長補佐 あくまでも個人利用については、例えば、ご家庭での催事の利用とかを想定しているので、地域の皆さんが集まって何か、会合とかを催した際の弁当については、お持ち帰りを原則として補助するという制度なので、そのようにお含み置きいただきたい。

○久保委員 そうした場合、どういうサークルなのですか、団体名とか集まりの名前は必要になるのか。

○鈴木地域総務課長補佐 申請行為をして補助金を使っただけということになるので、それなりの団体名を考えて申請いただきたいと思っている。

○斎藤委員 新飯田コミュニティ協議会の斎藤である。

このチラシを見ると、直接店に申し込むのではなく、あくまでも区役所へ申し込んで、区役所の担当者が登録店で発注するのか。どういう仕組みなのか。

○鈴木地域総務課長補佐 二つ目の黒枠の利用の流れの①をご覧ください。まずは、真ん中の利用する団体の方が登録店に弁当の予約をしていただく。その後、利用を申し込んだので補助を受けたいということで、区役所に申請をしていただくのが②になる。まずはお店に予約をしていただいて、その後に補助金の申請をいただくという手順になる。

○斎藤委員 登録日は、3月1日からの利用期間になっているが、あと5日ほどである。登録店はどこに行くと分かるのか。例えば、南区内の弁当屋というか、こういうものは発表になるのか。

○鈴木地域総務課長補佐 登録店については、今まで事業をしてきた地域での交流支援の登録店を含むホテル等が対象になる。なので、南区としては、今まで登録いただいたお店が登録店、利用の対象になる。このお店を確認する術なのだが、市のホームページで常に登録店を更新しているので、そこをご覧くださいければと思う。

○渡邊（喜）委員 新聞等で発表になったようだが、3月4日からマイナンバーカードで病院の受診が可能になるということが載っていた。その手続きは、南区の場合はどこの病院が対応しているというような広報予定はあるか。

○内藤区民生活課長 区民生活課がマイナンバーの担当なのだが、それについては承知していなかったもので、後ほど、どこを見ればいいのかということをお知らせしたい。ただ、すべての医療機関がすぐマイナンバーカードを保険証として使えるわけではない。

○議長（小田会長） 3月4日から間違いなかったか。

○渡邊（喜）委員 そうである。ご存じのとおり、南区は高齢者の方がかなり増えていて、やはりこれからそういう病院にかかるときに、マイナンバーカードを持っている人は少ない、あるいは全く持っていないかもしれないし、今までの保険証との絡みがよく分かるように、広報でひとつご説明していただくと非常にありがたいと思っているので、よろしく願います。

○内藤区民生活課長 保険証の機能のところだけ、保険証が全くなくなってマイナンバーカードに統一されるのは10年とか20年以上先の話なので、しばらくは両方通用するという運用だと聞いている。それだけここではお答えさせていただく。

○渡邊（喜）委員 それでは、当分、保険証はなくなるという意味か。了解した。ありがとうございます。

○議長（小田会長） ほかにご発言なさりたい方はどうぞ。

発言はないようである。それでは、その他の項目はこれにて終わらせていただく。

4 南区自治協議議会（第7期）を振り返って

○議長（小田会長） 続いて、本日は南区自治協議議会（第7期）を振り返ってという項目を設定させていただいた。間もなく、冒頭のごあいさつでも申し上げたが、私どもに課せられた第7期自治協議議会委員の任期が終了となる。2年間ご活躍いただき、各々の観点から自治の確立にお力添えをいただいた。本日、議事案件が少なかった関係もあるので、改めて、委員各位から第7期を振り返ってのご感想あるいは年間を通じてのご意見を、お一人2分程度でご発言いただければ

幸いである。

私から向かって左側の斎藤委員から、暫時マイクをお移し願って、ご発言をいただければと思う。忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いである。

○斎藤委員 新飯田地区の斎藤である。一人2分というプレッシャーがかかるが、トップバッターは意外とプレッシャーがかかるのである。隣の人からあまりたくさんしゃべるなど、これまたプレッシャーをかけられている。

それはそれとして、とにかく、今年の場合は新型コロナウイルス感染症で、新潟市も南区も各部会もみんなそうだが、そういう中にあってもそれなりに、規模を縮小したり、委員の皆さんの努力によって今日まで来たというのは、皆さんの力が結集された結果だと思っている。そういう意味では、大変よかったのではないかとと思っている。

ただ、新型コロナウイルス感染症なので、皆さんどこへ行ってもマスクをしている。特に私などは目が悪いので、あちこちで頭を下げられるのだが、さて、どこの人だろうと、マスクの弊害が出てきているので、その辺は反省している。

なくなるとは思うが、1日も早く新型コロナウイルス感染症が縮小していくように願っている。この1年間、大変ありがとうございました。

○栗田委員 2年間、ありがとうございました。毎回多彩な内容で議題審議がなされていたが、聞き役に徹していた。貴重な経験をさせていただいた。

一番ありがたかったことだが、昨年11月にまちづくり活動サポート事業の追加募集に応募させていただいたところ、採択をいただいたことである。子どもや保護者、老人会など、楽しく1日を過ごすことができた。基盤整備ができたので、今後も機会があれば継続的に実施していきたいと思っている。ありがとうございました。

○須戸委員 庄瀬地域コミュニティ協議会の須戸である。委員の皆さんがどのようなことを発言されるのか、大変興味があるので、私の分は簡単に説明させていただきたい。

私自身、自治協議会委員の仲間入りをさせていただいたおよそ2年前、平成元年5月下旬の庄瀬地域コミュニティ協議会の総会場で、地元の推薦を受けて自治協議会委員になったこと、それから、そのころ、新人の委員として研修、オリエンテーションなどを受けた直後だったので、自治協議会の組織の概要や役割について、意気盛んに報告していたことを思い出した。これまでの行動なりを振り返ってみて、三つにまとめてみた。

一つは、協議会あるいは部会、委員の研修会等の会にはほぼ出席させていただいたが、その会議の場においてほとんど発言ができなかった。二つ目に、当初から、各委員の選出母体は違っても自由平等であり、活発に発言をいただいて、また、その議論の内容を地域にフィードバックしてほしいという要請があった。この件に関しては地域課題の吸い上げも協議会での議論の内容も地域にスムーズに還元することができなかった。原因として、地元組織の構図上の環境の問題もあったと思うし、今のコロナ禍での情報交換の難しさなどもあったと思う。三つ目に、まとめになるが、自治協議会委員になって2年間、自分なりにこれまでの経験を踏まえて、いろいろ学ばせてもらい大変勉強になった一面、地域にあまり貢献できなかったのではないかと反省を持っている。

○久保委員 小林コミュニティ協議会の久保である。

2年間、自治協議会委員として活動してきたが、反省点としては、自治協議会提案事業や、この自治協議会で行われている数々の事業で、参加できるものがいくつかあったと思うのだが、なかなかそういったものに参加できなかった。仕事もあるのでやむをえない部分もあるのだが、私は第8期も継続して委員をやらせていただくので、次期はできるだけ参加して、実際にどのように行われているかも見ていかなければだめだと思ったのが一つである。

もう一つは、小林コミュニティ協議会に帰ってフィードバックが不十分だったということである。コロナ禍でなかなか活動もできなかったというのはあるのだが、来期に関してはできるだけ自治協議会で話し合ったこと、出た意見をもっと地元コミュニティ協議会に帰ってフィードバックして、またそこで一つでも二つでも活動を広げていけたらいいのではないかとと思っている。

○渡邊（直）委員 月潟コミュニティ協議会の渡邊である。

月潟コミュニティ協議会でもコミュニティ協議会の中で自治協議会委員としての私の組織上

の立ち位置というものがなくて、ここで勉強させていただいたことを地域にフィードバックする、そして地域の問題点を取り上げてこちらに持ってくるのが構造上できない状況というのはどうなのかということ、初めてこの2年間で学ばせていただいた。

月潟地区は南区において、南区の文化は県外の人から見れば風合戦など、どうも味方地区と白根地区を月潟地区は少し冷ややかな目で見ているのではないかと思ったときには、やはり、月潟地区も南区の一員として、組織の構造上、一緒になれるような形になればという思いなので、それはまた月潟コミュニティ協議会に持ち帰り、構造上変化させて、もっと南区と一緒に発展できるような形作りができるよう心がけて働きかけていきたいと思っている。

2年間、ありがとうございました。

○笹川委員 味方地区コミュニティ協議会の笹川である。

今期で2期目、4年過ごしてきた。最初の1期目のときは本当に勉強しなければとてもついていけないような感じだったが、なかなか自分で飲み込むのに時間がかかった。2期目は1期目の反省があったので、あまり肩肘張らずにというような感じでやっていこうと思っていたが、第2部会の部会長という大役を仰せつかり、これまたなかなか荷が重かったと思っている。それでも何とか務め上げてこられたのは皆様のご協力あってのことだと思っている。

このあいだの月曜日に、次期も私がまた担うことになったので、皆様、ご一緒される方がいらっしやったらよろしく願います。

また、役員をやっているといいこともあり、お弁当代金の一部を補助しますというものを24日に聞き、私ども自治会でちょうど昨日、料理屋に発注してそのままQRコードで南区に申し込ませていただいた。後日、クーポンが送られてくるのを楽しみにしている。

今期もどうもありがとうございました。

○富井委員 白根コミュニティ協議会の富井である。

第7期を振り返ってということだが、言おうと思っていたことは何もなかったと言いたかったのだが、前回の教育ミーティングで、タブレット事業になるという、子どもたちの目も含めて、先生方も含めて、えらい問題が起きてきたなど。国の方針だから仕方がないのかなと思った。

それが一番の今年の振り返ると、中身を見ると、前も書いたのだが、終わりの時間が書いていなくて、議事がないのになぜ会議にこんなに時間がかかるのだろうと。もう少しうまく時間内で収められないかということの一つ思った。あと、見ると、いつも空いている席があるという、これはどうなのかということも一つの疑問であった。

○鞠子委員 大通コミュニティ協議会の鞠子である。

4年間やらせていただいた。来期もコミュニティ協議会の代表として継続してやらせていただくことになる。私が思うに、4年間やらせていただいて、自分の不勉強さもあるのだが、各地域や南区や新潟市や日本全国とか、いろいろな問題が山積している中で、新型コロナウイルス感染症も含めてだが、その中で住民代表や各種団体の代表がこの場で皆さんお集まりいただいて、いろいろな意見、討論していく中で、一番大きな自分の反省でもあるし、今後も考えていかなければいけない大事なことだと思うのだが、協働の中で、自分のコミュニティ協議会は、また鞠子個人も、何ができて何をすべきなのかという原点に立ち戻りたいということである。

私は4年間、自分で言うとしんどいかなという部分もあるのだが、行政に今後のお願いとして、もう少し見える化していただきたいというお願いである。簡単な話なのだが、見える化とは何かというと、私が思うに、行政が思う見える化というのは、困ったことを、だれにも当てられないものをどうしたらいいかということが多分にあると思うのである。この前、大雪が降った。私は赤塚建設課長に鞠子のメモを渡した。雪の捨て場がないのである。家の前に車が1台しか通れない。雪の捨て場がないのに地域センターに雪の山があって、公園の駐車場に雪の捨て場があるのだが、そこには集めていないのである。困っているのである。地域住民が雪で車が通れないではないかと、私のところにも散々電話が入った。そのときに、なぜ建設課長は私のところに言ってくれないのかと。地域も空き地があればその持ち主に私が折衝に行く。雪を捨てさせていただきたい、置かせていただきたいと。そういうものがこの場の原点にあるのではないかと、私は思うのである。決して私は行政を責めているつもりはないのである。お願いとして、鞠子、考えてくれ、自治協議会で考えてくれと、腹を割って話ができるような場にしていくべきである。

そうすると、どこかに何かの光が見えてくるのではないかと思う次第である。この辺を今後2年間、またここにいらっしゃる皆さんもいろいろな立場でいろいろなレベルの方もいらっしゃると思うが、そのレベル一つ一つを大事にすれば、何か一つの光が見えてくると、私なりに思っているところである。今後ともよろしく願います。

○今井委員 南区PTA連絡協議会の今井である。

今年度の活動、自治協議会の事業もそうだと思うが、学校でもほとんどの活動が我慢、ほとんど事業が見送られたという1年間であった。その中で、南区PTA連絡協議会でも、集まりが一切なかった。そして、私は今、自治協議会の委員として出席しているが、私も2年の任期が今年でいっぱいになったので、次の委員をだれにするか、実は、南区PTA連絡協議会では今のところ決めかねている状態である。ほとんど顔を合わせていないばかりということで、だれにするか。実際のところは、中学校区で以前までは持ち回りしていたが、今回、私がこの委員をしたのも持ち回りで担当した中学校区の方から、だれも仕事の都合がつかず出ることができなかつたということで、私が今回、委員になったのだが、次の委員をだれにするか苦労している。私は子どもがこの春で中学校を卒業するので、小学校、中学校には子どもがいないので引退なのだが、実際、学校から出していただいて、次期の委員も引き受けてもらえないかということで、子どもはいないのだが、まだ本決まりではないが、PTAに役員として残るといった話も出ている。

そんなこんなで、何かとコロナ禍でさまざまな事業が我慢させられた、当然、子どもたちもとても我慢した1年間だったと思っている。そのような中で、ぜひ、来年度は子どもたちが、南区の主な取り組みの中にある、学校との連携の事業がとても多いが、子どもたちが楽しんで学べるような1年間になってほしいと思っている。

あと、この場を借りてお話ししたいことがあるのだが、最近、白根小学校の児童が不審者に出会うという件が今年に入って2件ほどあった。1件は1月22日、下校時に女子児童が不審者に会った。2月19日には登校時に、これまた女子児童が不審者に会ったと。2月19日の不審者事案は、手を引っ張られたまま50メートルくらい連れて行かれたという事案だったので、少し心配な事案となっている。西区であった小学生の痛ましい事件から、この5月になると3年たつが、実は、今年に入ってから2件以前はあまり不審者情報がなかった2年間くらいだったのだが、そういう西区の事件があってから周りの方の目なども注意されていて、そういうことが少なかったのかなと思うのだが、時間がたって、今年に入って2件、ちょっと心配な事案があったので、どちらの地域の皆さんも、こういう不審者事案というか、子どもたちに心配な事案があったら少し注意深く見守っていただければと思う。よろしく願います。ありがとうございました。

○中丸委員 南区連合保健会の中丸である。

私は今年、初めてこの会議に参加させていただいた。正直な話、自治協議会自体の活動内容というか、知らないままに出席させていただいた。出席できる限りこういう会議に出席させていただいて、本当に勉強になった。私の場合はもう1年、8期の会に参加させていただくので、1年間はそれこそ何も分からないもので聞き役だったが、何か発言できるような事案があれば頑張りたいと思っている。1年間、ありがとうございました。

○渡邊（喜）委員 私は南区老人クラブ連合会からまいったが、今現在、老人クラブでは33クラブ、1,297人の方が会員としておられる。ところが、実際は、南区では65歳以上の方が1万3,415人いらっしゃるのである。そうすると、老人クラブの代表として来ても9.7パーセントのご支持でここに立っているというような感じであったが、私が意見を申し上げるとき、あるいは質問申し上げるときは、必ず大勢の、クラブに入っていない方の分も含めて、常に意識していた。そういう意味では、まず、会長をはじめ第7期の委員の皆様、そしてそれに関連する職員の皆様方とともに、一緒になってこの席に座って審議できたことに深く感謝申し上げます。

第7期では三つの目標を掲げたが、私が一番残念だと思ったのは、3番目の目標である。3番目は、組織、団体の人づくりを進めると。そういう意味で、運動体との変化を図る、あるいは協働を図るということだが、私自身は、そういう意味では少し実行不足ではないかということで、心残りである。これもまた次期、第8期の皆様方に問題提起としてお譲りして、私の感想とさせていただきます。ありがとうございました。

○山宮委員 社会福祉協議会の山宮である。

自治協議会の運営、大変ご苦勞なさって、小田会長と事務局の相当なご努力でここまで来ていると感じているが、日ごろ感じていることを若干述べさせていただきたいと思う。自治協議会の役割について改めて考えて、運営指針を開いてみたら、協働の要と審議機関としての役割という二つに絞り込まれていた。どちらも重要な役割だとは思いますが、南区についてどうかと考えてみたら、委員の方々は皆さん多忙で、忙しい身であられることと、取り組みといっても私がこれまでやってきた状況を見ると、ほとんど事務局に依存しているような状況があったと考えている。協働の役割と審議機関を並行、どちらもとは言わないで、どちらかという審議機関としていろいろな意見をまとめていただくほうが、役割としては重要なのではないかと考えている。また、意見を求められる課題等があれば、今回はたまたま事前にお話があったので整理してまいったが、事務局は大変だろうけれども、文書であらかじめまとめてもらったほうが、より効率的な会議ができるのではないかと考えている。行政をバックアップするための意見交換の場となればまた自由な意見が言えるわけだから、そういった部分で、議会とは違うので、あまり詳細な記録などは残さないで、ポイントだけをまとめてこんな話があったということでもまとめておいてもらえれば、もっと委縮しないで発言できるのではないかと思う。

最後に、地域においても女性役員の比率向上がなかなか進んでいない。どうやったら女性の方から役員になってもらえるか考えている。これは地域で話していてもなかなか現状を打開できない状況があるので、行政から積極的な働きかけをしていただいて、地域で考えてくれということで進められたらどうかと思っているので、よろしく願います。

○町屋委員 民生委員・児童委員の町屋である。

私は南区の民生委員・児童委員として自治協議会の委員をやらせていただき、会議内容については、民生委員・児童委員は毎月、代表と副代表が集まって会議をやっているのですが、そちらに会議内容を、会議がなかった書面会議のときも報告させていただいていた。南区自治協議会と民生委員・児童委員の協議会のつなぎ役として努めてまいった。これからは民生委員・児童委員の一人として、コロナ禍ではあるが、民生委員・児童委員の活動を少しでもご理解いただけるように、私の対応についても地域の対応も十分、コロナ禍を配慮して、担当地域の支援活動を行っていきたい。例としては、私の高齢者への対応については、担当している地域が一人住まいの高齢者の方が非常に多くおられる地域なものだから、住み慣れた自宅や地域で最後まで暮らしたいと思われている住民の方々と一緒に最後まで安心して生活を送れるように、区役所をはじめとした他職種と連携して、生活を送れるように支援を必要とされることを私自身が理解して、生活支援のサービスの提供にはこういった連携が非常に必要になるので、先日の南区の講演会の中で在宅医療の拡充のためにという話もあったが、訪問介護の役割を果たせるよう、地域の中の社会資源として民生児童委員も入っているのだから、地域で住民の方々が自立した生活を営めるよう、地域で見守り支援を行ってほしいと思っている。最後まで自宅で生活を自宅や地域で過ごしたい方は非常に多くおられるし、また、施設の待機待ちということもあるので、生活するうえで一人住まいの方との会話の中で情報を把握できるように努めているし、また、そういった中での対処が必要な方については、関連機関にお伝えして支援をお願いさせていただいている。

今後の気がかりとしては、新型コロナウイルス感染症の高齢者へのワクチン接種の対応である。こちらを予定どおり進めていただけるように、情報共有が、区役所をはじめ関連機関と共有させていただけるのかどうかも含めて、無事に終わらせていただけるように、私ども民生委員・児童委員が支援に結びつけていただけるように努めていきたいと思っている。

○大那委員 観光協会の大那である。

第6期と第7期、大変お世話になった。ありがとうございました。ただ、残念なことに、観光協会最後のお願いということで、令和3年度の委員提案事業をお願いした観光看板の件だが、一応、他の事業で実施するというのをいただいたが、第3部会に回り、残念ながら却下された。今でもそれが心残り、卒業しなければならないという気持ちである。大変お世話になった。ありがとうございました。

○小嶋委員 食生活改善推進委員協議会南支部の小嶋ノリである。

今まで自治協議会に見て聞いて参加していた。それが今年度はまちづくり活動サポート事業に

動き出して、食生活改善推進委員全員が参加したという気持ちで、達成感でいっぱいである。みんなで本当に作り上げていくものなのだと思います。たくさん予算を計上して、私も大事なお金を使わせていただいて、みんなでやる、そして交流して知り合うという、一歩前進したのではないかと1年であった。ありがとうございました。

○鈴木委員 南区支え合いのしくみづくり協議体の鈴木である。

今期、2年間、大変お世話になった。トータル4年間お世話になり、1年目のときから加わらせていただいて、勉強しなければと思いながらやってきた中で、私の支え合いのしくみづくり推進員としての役割として、どのようなことができるのだろうと。自治協議会の会議の中で、最新情報として、また地域に出かけていった際には、こういった情報があるとか、そういったことで、自治協議会の委員としてどういう役割を果たせたらいいのかということも考えながらやってきたところである。支え合いのしくみづくりはまだまだ難しいところがあるが、引き続き自治協議会の皆様と一緒に考え、進めていけたらと思っている。

私は第2部会に所属していたが、平成29年からであったか、出会いのきっかけづくりの婚活パーティーに継続して取り組んでおられて、昨年12月も開催されて、今後も継続して実施していく中で、中身についてもカップル数が増えるように工夫をというご意見もあった中で、ご成婚に至ったという報告も聞いているので、そういったことを、どこのどなたということではなくても、こういった出会いのきっかけづくりでカップルになられてご結婚されたことをもっと発信をできるようになったらいいのかなと思っている。

併せて、まちづくりサポート事業も平成30年から今年度まで14の事業が実施されていると思うが、その事業は南区自治協議会が事業を委託しているという部分をもう少しアピールできるといいのかなと。自治協議会にどのような役割があるのかということからは、地域の課題解決に向けてということも、地域の困りごとが、例えば、身近な自治会長あるいはコミュニティ協議会に吸い上げていくような形ができていくといいのではないかと、改めて考えている。

私も異動がなければ引き続きということになると思うが、南区に在住しているので、住民としても協力できることは精いっぱい努めてまいりたいと考えている。この2年間、大変ありがとうございました。お世話になりました。

○松尾委員 南区スポーツ協会の松尾である。

自治協議会については2年前に初めてここに参加させていただいたが、自治協議会というものはどういうものかという感想で、私は入ってきた。区長をはじめ各課長、部会長、担当がいろいろなものを提案していただいて、教えていただくことについては感謝を申し上げるし、一緒に活動して、中の事務局からいろいろ苦勞していただいたことには本当に感謝申し上げます。

また、自治協議会については、小田会長が名議長ということで非常にスムーズに2年間進んだのではないかとと思っている。また、第2部会では富井部会長が上手に誘導していただき、教えていただいたということで、本当に私はそれを一部補助するような形でやってきた。そういうことで、少しコミュニティの人たちと違う立場の人間だと自分で感じながら活動させていただいた。

一番思い出になるのは、やはり、これからというときに新型コロナウイルス感染症の感染防止ということで、非常に活動が制限されたことについては、これからもそういうことが起きたときにどうやって工夫をしていったらいいのかと思っているし、アイデアを出していかなければいけないのではないかとと思っている。

私は南区の、本当に生まれたときからここにいるので、南区というのは素晴らしい地域だと思うし、住みよい、いい場所だと思っている。これから、提案内容について何ができるのか、そして、私もスポーツ団体にいるので勝敗にはこだわってきた人間だが、この自治協議会の中でいろいろと考えると、活動はしてきたが、成果が見える活動と、これがよかったというインパクトができるような形に何とかならないものかと私は思っている。やはり、白根といたら凧、旧笹川家住宅、角兵衛獅子とかいろいろあるわけだが、それがもう少し、一人歩きだけしないように、世の中のために、世間のためになるような形に進んでいければ、なお地元にも活力も取り戻せるのではないかと私は思っている。そういうことから、せめてもう少し、世間が、南区っていいものだなというような形にしたいという印象を持っている。これからも一つよろしく願います。今回、お世話になった。

○阿部委員 私は、区長が必要と認めた個人枠として自治協議会に2年間、参加させていただいた。ありがとうございました。

そういう立場なので、会議にはしっかりと意見なり質問なりしていこうという気概で、この2年間、やってきた。最近になって気づいたことは、私も木を見て森を見ずだったという少し残念なところがあって、具体的に言えば、自治協議会の議案について、だれがどのようにして決めているのか、そういった最初のフレームをまず、私は疑問に持たなかったというのが非常に残念なところであった。例えば、先回、雪害と言われるような大雪のときに、鞠子委員が言われたように、本来はコミュニティと行政がきちんと連絡を取ってそれを乗り越えるという形にしなければいけないものを、先回の場合は報告事項で終わっているわけである。これはまさにコミュニティの自治の問題であって、皆さんでこういう場所に雪を捨てよう、こうしようと、そういうことがこの自治協議会で提案されるべきだと私は強く思うのである。これがこの2年間、全くできなかったということを疑問に感じなかった自分自身に私は恥ずかしいと、皆さんに申し訳ないと思っている。

あとは、一つには、会議の時間が長すぎるということと、もう一つは、発言する人、例えば、自分が言いたいことがたくさんあるにしても、恐らく、だれも心に何も残っていない。なるべく言いたいことは明確に、そして少なめに、それをきちんと強く訴える、そういうことが発言者に求められていることだと思うので、その点も次期に向けて私から意見させていただく。よろしく願います。

○田中委員 庄瀬小学校でコーディネーターをしている田中である。

今期はいろいろと制限があったが、そのような中でも、第2部会で行った出会いの場づくり事業が印象に残っている。回を重ねるごとに申し込みが増え、南区の独身者の周知ができたことを実感した。今後も続けていただき、少しでも多くの人に参加して結婚につながればよいと思っている。

今後の自治協議会に思うことは、今回でお辞めになる委員の方、続ける方、それぞれに自治協議会を周知していただき、委員だった方がより活発な発言で南区をよりよい方向に導いてほしいということである。

最後になるが、自治協議会に参加させていただき、いろいろな人と出会い、いろいろな知識を得ることができた。私を見守ってくださった皆様に感謝する。本当にありがとうございました。

○小林委員 1期2年間、大変ありがとうございました。第7期の最初のころ、6月、7月と入院してしまい、皆様にご迷惑をおかけしたことを改めておわび申し上げる。

私は、7年前に急きょコミュニティ協議会の会長を引き受けて、その時点で自治協議会に参加というか出席させていただいた。当時は第2部会に出させていただいたし、自治協議会にも出させていただいたが、1年目はやはり何もやることが分からなくて、自分で思っていたことは、自治協議会というのは各地域から疑問があること、悩みがあることを自治協議会に上げて、それを自治協議会で審議していただいて、それを南区に上げて、それから南区から新潟市に上げて、それが戻ってきてフィードバックされるのかなという考えでいたが、実際のところはそういう審議があまりなくて、報告が多かったと思っている。そこで、2期目に私から審議事項を上げさせていただいた。当時、皆様も分かると思うが、街灯と防犯灯の違い、料金の違い、また補助の違いということで、それを審議に上げさせていただいて、約1年間たって提案書ということで、南区及び新潟市まで上げさせていただいたが、結局は何もならないということで、返答があった。その後も審議事項について上げようと思っていたが、皆様方の時間もあったので、その後、1日1回くらい発言しようということで、何年かやらせていただいた。

第7期の2年間は前に座らせていただいたのであまり発言をすることはできなかったが、やはり、皆様方、せっかく地域及び団体、また公募からこの自治協議会に参加されているので、ぜひ、思ったことを発言していただきたいし、私も発言していければと思っている。本当を言えば、自治協議会は最初は2期で交替だったが、その後改正され、任期がなくなり、7年間居させていただいた。この7年間で、やはり多くの方のお話を聞いたり、また、役所の方のお話を聞いたり、いろいろ地域の方のやっていることを聞くことによって、それを私の地域にフィードバックできたのではないかと思います。

また、小田会長が始められたまちづくり活動サポート事業については、臼井地域は2年間活動させていただき、臼井地域についてはフィードバックできたのではないかと自分でも思っている。臼井地域は商店街もなくなり、活力がかなりなくなってきたので、また私も地元に戻り、今度はコミュニティ協議会の役員ではなく、そのほかの形で臼井地域を盛り上げていきたいと考えている。

7年間だったが、多分、私は替わると思うので、次の自治協議会に来られる方については、ぜひ、多くの疑問と質問と協議を持ってこの場に来ていただければと思っているので、よろしくお願ひする。大変ありがとうございました。

○議長（小田会長） これで、本日出席の20名の委員から一言ずつご感想を頂戴した。お聞きして、私自身も感謝の思いがいっぱいであるし、それと同時に、至らなかったことを本当に感じている。申し訳なかった。今、新潟市区自治協議会会長会議の会長も承っているが、第7期を振り返っての全自治協議会のまとめをやっているところである。私も文書を提出している。それから、来月20日に広報される自治協議会だよりでも、第7期の感想、まとめについては記述してあるので、お読みいただければと思っている。

今日の皆さん方のご意見の中で、3名の方のご意見、全く日々痛切に感じていた。実は、本来の自治協議会の役割が、第7期中、片肺飛行であった。というのは、ありようを巡っての改革で、自治協議会は地方自治法の定めから解き放たれ、新潟市の附属機関として独自の活動が認められた機関であった。ところが、この第7期、議事の案件がすべて行政主導で議事案件が提出されたきらいがあった。私どもがどう地域の中から、あるいは日常生活の中から、ここで議論の場として提起し、そして対策を検討し、市長や行政にどう提案するか、提起するかの行為が残念ながら第7期中、1件も成しえることができなかった。議論は大変活発にした点があったが、その議論の出発点が、私たち自治協議会に課せられた本来の責務とは少しずれていた気がする。残念ながら、片肺飛行の自治協議会であったのではないかと、深く反省している。私の力不足を痛感した、ただいまの皆さん方のご意見であった。今後ともいろいろな観点でお力添えをいただければと思っている。

以上で、第7期を振り返っての皆さん方の意見を述べていただく項目を閉じさせていただく。

5 次回全体会の日程について

○議長（小田会長） それでは、次回全体会の日程について、お諮りする。毎月最終水曜日となっているが、第1回の全体会で配布したスケジュール表のとおり、3月31日は年度末のため、1週早めて3月24日水曜日となる。当日は、先月もお知らせしたとおり、市長と自治協議会委員との懇談会が午後2時から開催される。したがって、自治協議会の審議の前に懇談会を行いたいと思うので、懇談会の日時、午後2時までに南区役所講堂で開催ということよろしいか。その後、自治協議会が開かれる。いかがだろうか。3月24日午後2時、市長懇談会を皮切りに、最終の自治協議会を開催する。万障お繰り合わせの上、お集まりいただきたい。

6 閉会

○議長（小田会長） 以上をもって第11回南区自治協議会を終了する。

(午後3時30分)